

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2015年5月定例会議議事録

- ◎ 開催期日：2015年5月21日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	三枝	佳紀
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
		村上	史朗
☆NAUI	株式会社ナウイエンタープライズ	和泉	芳則
☆オブザーバー	JRDA	有原	義則
	DANジャパン	小島	朗子
	静岡県ダイバーズ協議会	渡辺	守
		我妻	亨

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

- ① 第6回ダイバー自身の安全対策セミナー結果報告について、実行委員村上氏から以下の報告があった。
 - 参加約40名
 - セミナーでは、参加者の活発な意見交換があり、ダイビングの安全に対する意識は高まったものと思われる
 - 当日のキャンセルが目立ち、今後の課題である
- ② 「2015年度ダイバー自身の安全対策セミナー第七回大阪開催」のスケジュールについて、実行委員の村上氏から、当初の予定がアメリカで開催されるMEMAショーとバッティングしていることから、11月に変更する旨が報告され、出席者の承認を得た。
- ③ JRDA「第1回事故ゼロ推進委員会」について、JRDA有原氏から以下の説明があった。
 - 6月24日 14時からPADI ジャパン地下会議室で実施予定。
 - 旅行・指導機関・器材メーカー等ダイビング業界で、安全向上のために何ができるかを検討したい。
 - 器材メーカーの集まりであるスクーバ協会では、スクーバタンク取り扱い上の安全管理を具体的に示す。
 - C協については、保安庁の事故統計を分析し、安全対策を報告して欲しい。特に中高年の事故原因を分析し対策を講じる必要性がある。
- ④ その他
 - JRDAアンケート調査を浸透させるために、JRDA・C協共同で案内を作成することになった。
 - アンケートに参加しやすくするために、案内にはQRコードを付けることになった。

以上